

いろんなカタチの見守り活動

市内49地区社協では、福祉委員や民生委員・児童委員などと連携し、各地区の気がか
りな方の見守り活動を行っています。今回はその取り組みについてご紹介いたします。

湊地区社協



福祉委員と民生委員合同の ワークショップ開催

湊地区社協では、地区社協活動の良さをど
う広げていくかなどに課題感を感じ、今年度
から「親子で地域福祉活動に参加できる企画」
について考えていくことになりました。

そこで7月5日、まずは、福祉委員と民生
委員・児童委員自身の「福祉活動の楽しさや
やりがい」に気づくワークショップを開催し
ました。各班に分かれて、普段の活動で知り
合いが増えてつながる楽しさや喜びを感じた
り、生まれ育った地区でありながら、地域の
人たちのことを何も知らなかったことに気づ
いたなど意見交換し、活動で大切にしたいこ
と、どんな湊地区にしたいかなど意見を出し
合いました。



参加者からは、「ちよつとした変化に気づく
ことのできる近所付き合いをしたい」、「日頃
の挨拶から、支え合
い、助け合い、絆の
深まる地区にしてい
きたい」等の声があ
りました。

今後は「子どもと
参加できるボラン
ティア活動を考えて
みよつ」というテーマ
で、再びワークショッ
プを行います。

和田地区社協



一人暮らし高齢者に ゴキブリ団子の配付

和田地区社協では毎年、ゴキブリ駆除剤で
ある「ゴキブリ団子」を高齢者宅や児童クラ
ブ等の施設に配っています。

この事業は、食事サービスを行わない期間
でも、高齢者の方の様子を見守る機会として
取り組んでいます。

今年も5月10日に和田公民館に、社協役
員、福祉委員、民生委員・児童委員、保健
衛生推進員が集まり、約1800個のゴキブ
リ団子を約1時間で完成させ、民生委員・児
童委員が配付を行いました。

地区の方からは「和田地区からゴキブリが
いなくなった」と毎回好評です。



く、地区内での
顔の見える関
係づくりにもさ
らにつなげてい
きたいと考えて
います。



河合地区社協



防災を意識した 見守り活動

河合地区では今年6月22日、市総合防災訓
練に合わせて、福祉委員が町内のひとり暮らし
高齢者の安否確認の訓練を行いました。

訓練当日、福祉委員の毛利純子さんは、3
人のお宅に訪問し「訓練ですが、一緒に避難
所に行きませんか」と声をかけながら、一次
避難所の川合鷲塚集落生活改善センターへ歩
いて向かいました。

一緒に避難行動をされた毛利さんは、「一
人で避難所へ行くより誰かと行動するのは心
強かった。この先、年を重ねると一人で避難
できるかはわからないし、近所のつながりを
大切にしていきたい」。また、毛利純子さん
からは、「訓練というきっかけで訪問し、お
話ができた方もいてよかった。今後、ひとり
暮らし高齢者等も増えるので声をかけ合うこ
とは必要で、こうした訓練は大切だ」と話し
てくれました。

